

第35回 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場生活環境影響調査評価委員会 資料1及び資料2の修正内容一覧

修正箇所	修正前	修正後（朱書き部が修正部分）
<p>○資料1 16 ページ ○資料2 26 ページ 2.4 環境モニタリングの評価（総括）</p>	<p>処分場敷地境界における硫化水素、有害物質の拡散による大気汚染は認められなかった。さらに、処分場からの放流水の放流先である公共用水域の水質調査及びバイオモニタリング試験の結果でも問題がなかったことから、処分場からの放流水による周辺環境への影響は概ねないものと考えられる。また～（略）</p> <p>■ 処分場内の観測井戸の地中温度は、周辺の Loc. 1a と比較して前年度の同期間よりも差が縮小していることや、埋立区域内のほとんどの観測井戸では横ばいか低下傾向を示すが、一部観測井戸ではガス発生量、硫化水素濃度、メタン濃度等に変動が認められることから、廃棄物埋立区域内では、微生物による廃棄物の分解反応が継続しているものと考えられる。また～（略）</p> <p>■ 周辺地下水では～（略）</p> <p>このようなことから～（略）</p>	<p>処分場敷地境界における硫化水素、有害物質の拡散による大気汚染は認められなかった。さらに、処分場からの放流水の放流先である河川水の水質調査では、上流側と下流側で同様の水質の傾向を示しており、バイオモニタリング試験でも魚類の生育に支障がないと考えられる結果であったことから、処分場からの放流水による周辺環境への影響は概ねないものと考えられる。また～（略）</p> <p>■ 処分場内の観測井戸の地中温度は、周辺の Loc. 1a と比較して前年度の同期間よりも差が縮小していることや、埋立区域内のほとんどの観測井戸では横ばいか低下傾向を示すが、一部観測井戸ではガスの発生が依然として認められ、また、他地点と比較し硫化水素やメタンが高い濃度を示す地点も確認されることから、廃棄物埋立区域内では、微生物による廃棄物の分解反応が継続しているものと考えられる。また～（略）</p> <p>■ 周辺地下水では～（略）</p> <p>このようなことから～（略）</p>